

未来のアスリート発掘事業17期生

NTC視察代替事業

【オリンピックミュージアム・NTC 施設紹介等・国立競技場視察(試合観戦)】

報告書



1 実施日 令和5年2月11日(土)

2 場所 日本オリンピックミュージアム

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

国立競技場

3 訪問者 未来のアスリート発掘事業17期生

児童 61名(男子39名・女子22名)

引率 4名

4 日程

7 : 1 5	出発式
7 : 4 8	J R 富山駅 発
1 0 : 3 6	J R 東京駅 着
1 0 : 5 5	J R 東京駅 出発（貸切バス）
1 1 : 2 0	オリンピックミュージアム 視察・体験
1 2 : 3 5	「NTC 施設の紹介」「アスリートライフスタイルについて」 講師：山下 修平 氏 (ハイパフォーマンススポーツセンター ハイパフォーマンス戦略部開発課課長 JISS 副主任研究員) 込山 奈津子 氏 (ハイパフォーマンススポーツセンター ハイパフォーマンス戦略部開発課 コーディネーター)
1 3 : 3 5	国立競技場 視察 FUJIFILM SUPER CUP 2023（試合観戦） 横浜 F・マリノス VS ヴォンフォーレ甲府
1 6 : 0 0	国立競技場 出発（貸切バス）
1 6 : 4 5	J R 東京駅 着
1 7 : 2 4	J R 東京駅 発
1 9 : 3 6	J R 富山駅 着・解散

5 視察の記録

○出発式・乗車までの様子

移動の際は、背中に未来のアスリート生の看板を背負っており、いつも見られている意識をもって行動していました。

今後も、未来のアスリート生として競技能力の向上を目指すと同時に、周囲から応援されるアスリートになれるよう、あいさつやマナー面、感謝の気持ちや周囲とのコミュニケーションなどを大切にしたいと思います。

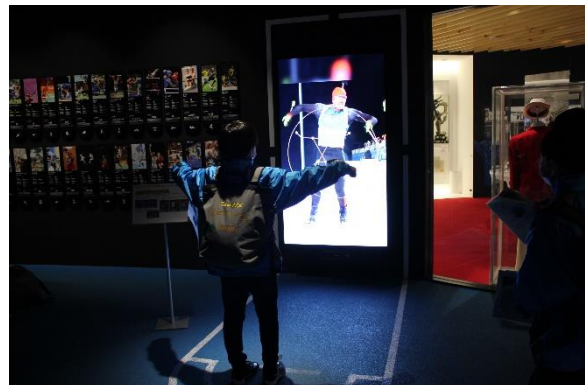


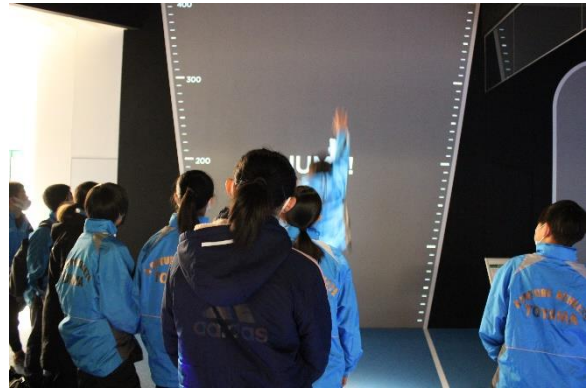
○視察・体験の様子【日本オリンピックミュージアム】

ミュージアムでは、「知る」「感じる」「学ぶ」「挑戦する」「考える」「エンディング」のそれぞれのエリアでオリンピックについて学びました。

オリンピックの歴史や、理念を学んだことにより、スポーツに対する考え方やインテグリティ（誠実さ、高潔さなど）の意識を高めるきっかけとなりました。

体験コーナーでは、夏季大会と冬季大会で行われるさまざまな競技が紹介されていました。未来のアスリート生は、競技に共通する複数の身体の動きをブース内で測定し、オリンピックの身体能力に挑戦していました。





○NTC 施設紹介等の様子【JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内の会議室にて】

日本スポーツ振興センターより、講師として山下修平氏と込山奈津子氏にお越しいただき、「NTC 施設の紹介」「アスリートライフスタイルについて」の講義を受けました。

「NTC 施設の紹介」では、NTC 施設の概要や、利用しているトップアスリートの様子を動画や解説で分かりやすく説明していただきました。

「アスリートライフスタイルについて」では、ワークシートを活用しながら学び、「アスリートとは?」「自分はアスリートだと思いますか?」と問いかけられた未来のアスリート達は、それぞれが自分を振り返り、今後どういった生活を送らなければいけないか考えさせられるきっかけをもらっていました。また、トップアスリートであるバドミントンの奥原選手やラグビーの小笹選手のインタビュー動画では、学生時代に何を大切にし、どんな考えで、どんな毎日を送っていたのか説得力のある話に未来のアスリート達は真剣な眼差しで聞き入っていました。

未来のアスリート 17 期生代表として、京谷美空さんが日本スポーツ振興センター職員の講師のお二人にお礼の挨拶を行いました。

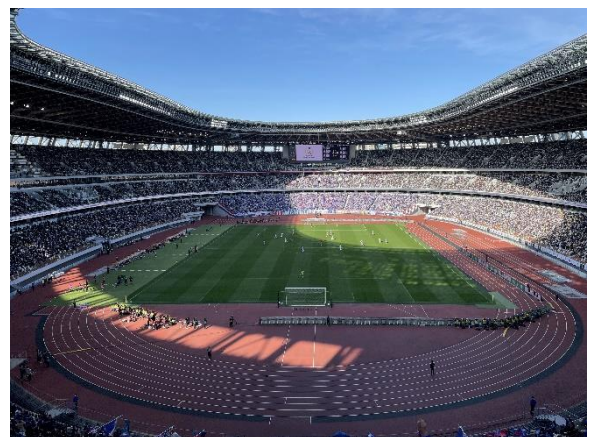


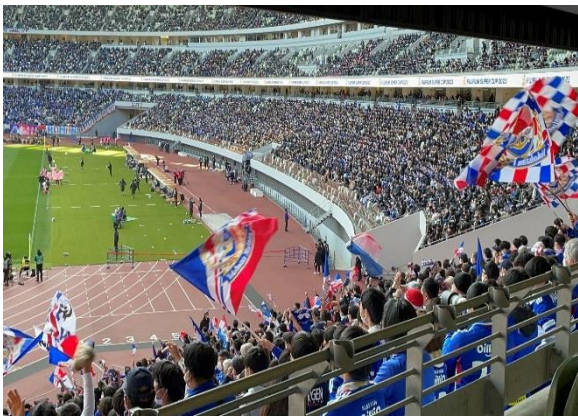
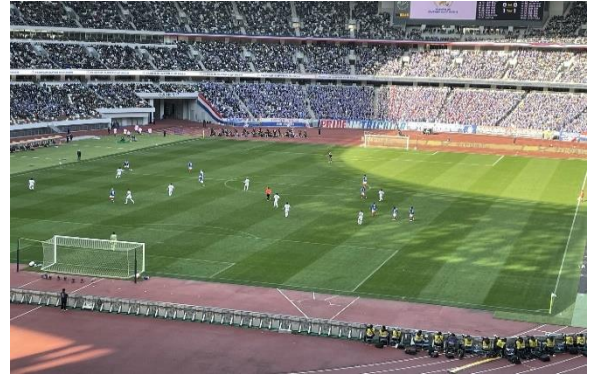


○視察・体験の様子【国立競技場・試合観戦】

国立競技場の視察・体験として FUJIFILM SUPER CUP2023 で横浜 F・マリノスとヴァンフォーレ甲府の試合観戦を行いました。新型コロナウイルスによる感染症対策の緩和もあり、観客数 5 万人を超える大観衆の中での試合となりました。

試合は一進一退の好ゲームであり、ゴールが決まると会場は大いに盛り上がり、未来のアスリート達も純粋に試合観戦を楽しんでいました。また、この試合には、富山第一高校出身の西村拓真選手が先発出場しており、主力として決勝点となるゴールを挙げました。県内出身者の活躍には未来のアスリート達も刺激を受け、トップアスリートを目指して将来この大観衆の中で戦う自分の姿と重ねて意識の高揚を図れたのではないかと思います。





参加児童の感想

オリンピックの歴史についての話や展示物などがたくさんあったので詳しく知ることができました。オリンピックトーチやメダルなど大会によってデザインや形が違うことを知りました。体験コーナーでは、さまざまな競技が紹介されていました。オリンピックの身体能力に挑戦し、改めてオリンピックの身体能力の凄さを感じることができました。国立競技場でのサッカー観戦では、近くでカッコいいプレーをたくさん見ることでとても嬉しかったです。今回の経験を忘れずに生活し、ナショナルチームに入れるように頑張りたいです。

オリンピックミュージアムでは、実際にオリンピックで使用されていた展示物を見学したり、オリンピックの理念や歴史を学んだりすることができて良かったです。体験スペースでは、世界で一番速いウサイン・ボルト選手のスピードや歩幅が床面に映し出されていました。やはり世界のトップレベルの選手は「すごい」と改めて感じるすることができました。国立競技場では、5万人以上の観客がいました。こんなにたくさんの観客に応援されながら試合をするのは緊張するけれど、高いモチベーションで試合ができて幸せだろうなと思いました。私もいつか、こんな大舞台で戦えるようなアスリートになれるよう努力していきたいと思いました。

NTC 施設の紹介では、トップアスリートが良いパフォーマンスができるように最新のトレーニングルームや研究施設がたくさん整備されていることが分かりました。また、「アスリートライフスタイル」の講義では、競争心やチャレンジなどを大切にしていかなければいけないことと、将来トップアスリートになるための夢に向かって自分の姿のイメージを持ち、毎日の生活を送らなければならないことを深く学びました。いつか、NTC 施設でトレーニングができるようなトップアスリートになりたいです。

オリンピックミュージアムの見学では、オリンピックの生き方、考え方を知り、オリンピックの歴史について詳しく知ることができました。オリンピックになるために選手の考え方を参考にしてこれからの生活に活かしていきたいです。国立競技場のサッカー観戦では、人の数・声の大きさ・競技場の大きさ・プレーの迫力、全てにとっても圧倒されました。その場の空気が今でも忘れられません。私もいつかあの大舞台で活躍できるようなアスリートになれるようこれから頑張りたいです。

オリンピックミュージアムでは、マラソンの有森裕子選手のインタビュー動画が心に残っています。小さい頃は特別、足が速くなかったけれど陸上競技の道を歩み、一生懸命頑張ったそうです。怪我やたくさんの困難があったけれど自分で高い目標を持ちながらずっと努力することで目標を達成し、その達成感から涙が流れ「初めて自分で自分を誉めたいです。」の言葉が出てきたそうです。私も、高い目標をもちながら努力を重ね、素晴らしい達成感を得られるよう頑張りたいと思います。